

## メッセージで子どもたちを元気に

8月6日、末吉町の久永浩一さんが中学1年から高校3年までの6年間に収集した約1万点の石器や土器が教育委員会によって鑑定されました。

末吉町を中心に収集された遺物には市内でも珍しい有茎の磨かれてできた石の鍬や市来式土器もありました。久永さんは「学生時代に末吉町内を駆け回って収集した遺物がやっと日の目を見ることができて嬉しい」と話しました。



発掘した土器の説明をする久永さん（左）

## 市内の人権を守るために

7月27日、人権擁護委員の委嘱状伝達式が行われ大隅地区の山本ひとみさん（一期目）に法務大臣からの委嘱状が伝達されました。

市には9名の人権擁護委員がおり、人権侵害等のないよう人権相談をはじめ各種活動に尽力されています。市長は「さまざまな相談があると思いますが、市の人権等を守るためにご尽力ください」と話されました。



人権擁護委員となった山本さん

そお市の旬なニュースをお届け

## まちのわだい

### 商店街活性化のため地域商品券を配布

8月7日、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている商店街をみんなで活性化しようと北部地区公民館は地区内の17自治会296世帯に1,000円分の地域商品券を配布しました。

北部地区公民館長の吉永辰美さんは「毎年8月に開催していた北部まつりが中止となったが、なにも活動しないのではなく商店街が活性化するように地域商品券を配りました」と話しました。



地域商品券を渡す吉永公民館長（左）

### 子ども議会が開催されました

8月7日、議会運営や市政に関心を持ってもらうため、今年度で7回目になる曽於市子ども議会が開催されました。市内小中学校の代表と今回から曽於高校生も参加し24名の子ども議員が議会を体験しました。

本番さながらの議会では自然環境や少子化対策の取り組み、道路の問題など様々な質問が出されました。



24名の子ども議員の皆さん

## 「九州探検隊」アンバサダー認定

8月20日、株式会社博多大丸の「九州探検隊プロジェクト」を情報発信アンバサダーに認定しました。同プロジェクトは2018年6月にスタート。九州119市と連携し、各市の食・文化・観光などの魅力を発掘・発信を行い、九州全体の活性化を目指しています。今後は相互で連携し、九州探検隊ホームページによる情報発信や大丸店頭でイベントを開催していきます。



認定式の様子

## センリファームが工場新設

8月19日、末吉町の株式会社センリファーム（勝目千里代表取締役）との立地協定調印式が行われました。同社は農産物の栽培から加工品の製造まで一貫して行っています。今回東京都を拠点に中華総菜を製造販売する株式会社神楽坂五十番の商品（肉まん等）を生産するため旧末吉原口地区特産物加工センターに食品加工製造工場を増設します。新たな雇用創出や地域経済の発展が期待されます。



協定書に調印した(株)センリファームの勝目さん（中央左）

そお市の旬なニュースをお届け

## まちのわだい

### オンラインでシゴトバ3<sup>スリー</sup>ラボ開所式

8月24日、大隅曾於地区消防組合の財部分署跡にテレワーク・起業創業施設「シゴトバ3<sup>スリー</sup>ラボ」が開所されました。ここでは自由にインターネットが使えるほか動画撮影できるスタジオなども利用できます。開設の中心となった地域おこし協力隊の江藤裕一さんは「施設を利用し自分なりの働き方を見つけてほしい」と話しました。利用方法など詳細は市ホームページまで。



3密を防ぐためオンラインで参加者へ施設を紹介

### コロナの収束を願う打ち上げ花火

8月22日、末吉町北部地区公民館（館長 吉永辰美）は新型コロナウイルス感染症の早期収束と曾於市での発生防止を願い、悪魔退治の言い伝えのある熊野神社の鬼が地区内をまわりました。また夜には疫病退散の思いを込めた花火が打ち上げられました。参加した迫大夢君は「曾於市に住む人が新型コロナウイルスに感染しないように願いました」と感想を述べました。



新型コロナウイルスの収束を願う打ち上げ花火

## 高松水田にきららちゃんアート田

高松地域活動隊は水土里サークル活動（農村環境保全活動）の一環として毎年アート田を実施しています。今年は7種類の稲を使用して旧財部町のキャラクター「きららちゃん」を描きました。

代表の加治木正昭さんは「地域の方と協力して作りました。今年は初めての取り組みとして、やぐらを設置したので高い所から見てもらいたいです」と話しました。



やぐらから見えるきららちゃん

## 中国の風景画などを描いた作品を展示

財部町の平川純一郎さんは、財部中央公民館で昨年中国の長春に滞在した際に中国の建物や風景を描いた絵画など約30点を展示しています。

平川さんは作品をブログ「中国長春滞在記 pin tuancyuni-ran」で公開しており「中国人の生活の様子や建築物を紹介したいと思い開催しました」と話しました。作品展は11月1日まで開催され、毎週日曜日は平川さんが作品の説明を行っています。



絵画作品展を開催している平川さん

そお市の旬なニュースをお届け

## まちのわだい

### 弥五郎どんのお面を寄贈

8月27日、大隅町の久木崎誠一さんから弥五郎どんのお面の寄贈がありました。

岩川八幡神社の弥五郎どんのお面（中央）は高さ80センチ横65センチ。元大工の経験を活かし材料となる桜や楠をのみで掘り5回以上色を塗り重ねています。寄贈した久木崎さんは「作品を作る時間は楽しい。多くの人に見てもらいたい」と話しました。お面はしばらくの間、本庁1階ロビーに展示されます。



左から都城市山之口町・曾於市大隅町・日南市鉄肥の弥五郎どん

### 令和元年度決算等の審査意見書を提出

8月26日、曾於市監査委員（野村行雄代表監査委員・谷口義則議会選任監査委員）が市長に令和元年度の決算等に関する意見書を提出しました。

これは法律・市条例に基づき監査委員が審査し、その結果を意見として市長に提出したものです。

計数は正確か、財産の管理は適正になされているか、予算はその目的に沿って適正・効率的に執行されているかなどについて審査されました。



意見書提出のようす

## 選挙管理委員会委員長へ表彰状を伝達

9月1日、選挙管理委員会委員長の澤律雄さんが全国市区選挙管理委員会連合会から表彰され伝達式が行われました。

これは選挙管理委員会委員長として長きにわたり在職し、選挙執行に尽力された方に贈られるものです。平成25年から現在まで選挙管理委員会委員長を務める澤さんは「これからも公正公平な選挙執行に努めていく」と話しました。



表彰を受けた澤さん

## 道路の美化活動に表彰

8月28日、「道路ふれあい月間」に合わせて財部町で長年道路の美化清掃に努めている「文化通り会」が道路愛護運動の優良団体として県知事表彰を受賞されました。

文化通り会の皆さんは県道末吉財部線などで草取りやゴミ拾いなどの清掃活動に加えプランターによる花の植栽管理を行っています。この活動は通行する人たちの心の癒しとなっています。



文化通り会の池上さんと江夏さん

そお市の旬なニュースをお届け

## まちのわだい



黒豚のオイスターソース炒めを食べる児童たち

9月4日、ナンチクグループが「黒の日」にちなんで、曾於地区の小中学校に黒豚肉約292キ（約6頭分）を提供しました。この日は出前授業が実施されブラックライトを使用し手の汚れを観察しました。憶小5年の川崎琉生くんは「手を洗ったのに汚れが残っていた。洗いが残らないように手を洗いたいです」と感想を述べました。ナンチク経営企画課の室屋周平さんは「食品会社なので衛生のことも気にしてほしい。今年は特に手洗いを大切にしてほしいです」と話しました。

ナンチクが黒豚肉を提供



冷凍保存と冷蔵保存の豚肉を食べ比べ



ブラックライトで手の汚れを観察